

第 2 期子どもをみんなで育む計画の事業評価概要

1 事業評価とは

子ども・子育て支援法に基づく基本指針より、市町村は各年度において計画に基づく施策の実施状況を点検、評価及びその結果を公表することが必要とされています。

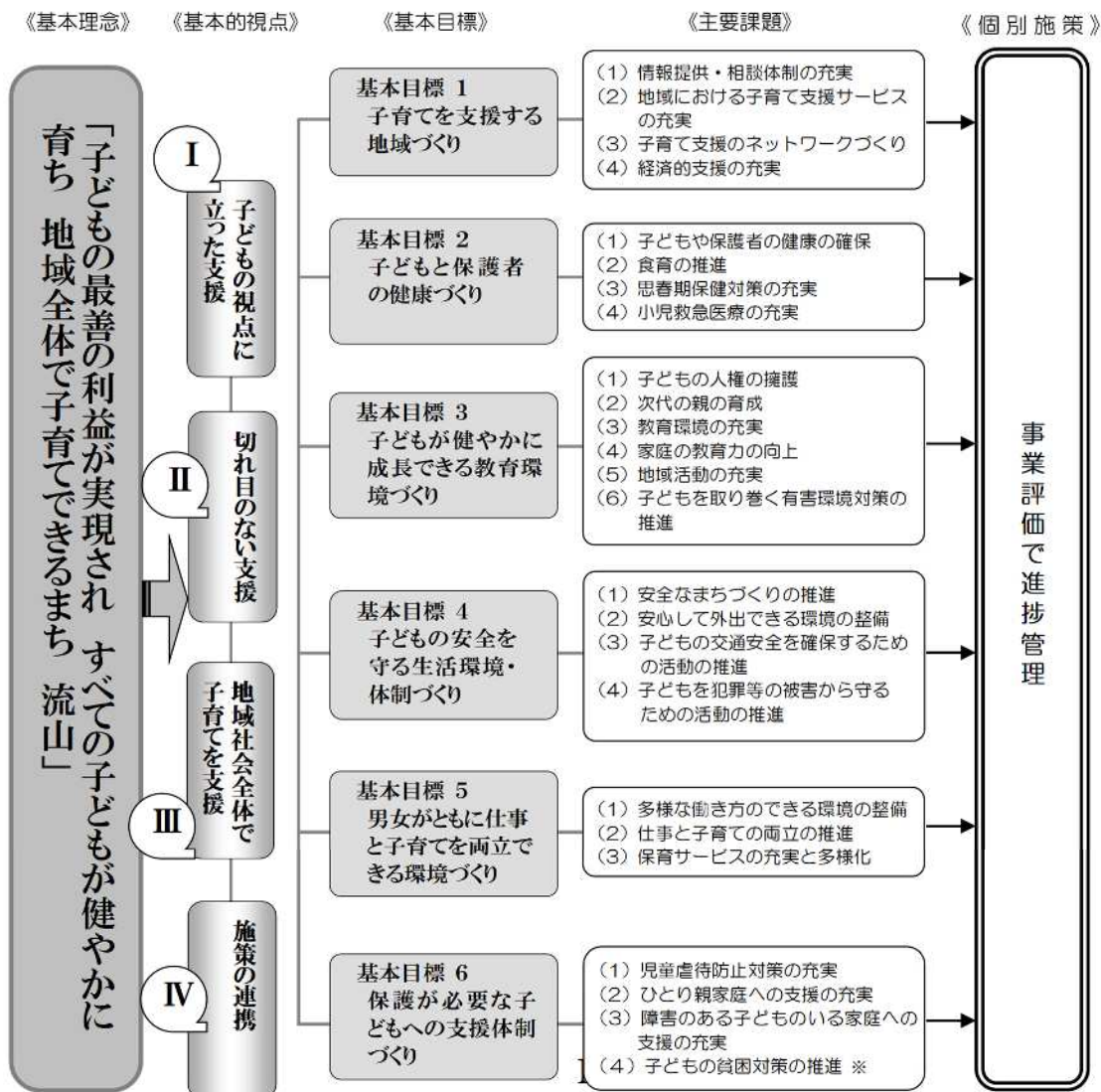
・ 個別施策の進捗状況 (アウトプット評価)

子どもをみんなで育む計画に位置づけられている 130 の個別施策に関して進捗状況を評価します 本日の会議で審議いただきます

・ 計画全体の成果 (アウトカム評価)

アウトカム評価とは、施策・事業の実施により発生する効果・成果を評価するものです。施策や課題に対して「どんな効果があったか」を検証します。

第 2 期子どもをみんなで育む計画の事業展開図



※第2期計画において新たに位置付けられたもの

2 事業評価の実施時期

アウトプット評価は令和3年度に全事業評価を実施し、そのうえで評価対象事業を審議します。アウトカム評価は令和4年度の計画見直し時および令和6年度の次期計画策定時に評価を実施します。

	R2	R3	R4	R5	R6
計画期間	第2期子どもをみんなで育む計画期間				
	評価見直し		計画見直し		次期計画策定準備
アウトプット評価		全事業	審議後決定	審議後決定	審議後決定
アウトカム評価			実施		実施

3 事業評価シートの見方

基本目標1 子育てを支援する地域づくり													
(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
8	保育所 (子ども家庭課(保育課))	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
認可保育所整備数(定員数(3.31時点))		5,697	6,424	7,406	7,930	8,470	待機児童数 翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	0	0
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めた結果、令和3年4月1日現在の国基準の待機児童数がゼロとなりました。						コロナ禍における保育所入所ニーズを勘案しながら、引き続き認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めていきます。							

評価区分

- A : B 評価 + 成果を向上させる改善・改良を施した場合 (90 ~ 100%)
- B : 達成出来た (80 ~ 89%) 通常どおり事業を遂行した場合
- C : 一部達成出来た (一部達成出来なかった) (80%未満)
- D : 達成出来なかった (未実施・廃止・統合など)

活動指標・成果指標

数値目標の設定になじまない、設定できない事業は指標を矢印 ((上昇) (下降)、 (現状維持)) としています。